

教育目標 人間尊重の精神を基調とし、豊かな知性と感性をもち、心身ともに健全な生徒の育成を目指して「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」を育てる

【学校経営の基本方針】 一人一人の生徒をしっかり受けとめ、伸ばし育てる学校づくりをする

【目指す生徒像】 多様に変化に富んだ時代に夢や目標をもって主体的・意欲的に生き、将来を創造することができる生徒

【目指す学校像】 『生徒が喜んで登校し、活力と魅力にあふれ、保護者・地域から信頼される学校』
(安心安全・楽しい) (充実した教育活動) (地域の子・我が子が通わせたい学校)

<学校経営の基本的理念>

- ①教育活動や校務遂行の全ては、生徒のために通じるものであり、教育目標の達成を学校組織として図る。
- ②コンプライアンスに基づいて学校教育を行うとともに、危機管理の徹底を図る。
(教育公務員としての服務規律の徹底・信用失墜行為厳禁)(報告・連絡・相談・記録の徹底)
- ③教職員の共通理解の基、「共生」「共有」「協働」を基本に組織的に教育活動をする。
- ④PTA、地域、健全育機関・関係諸機関との連携を密にして、生徒の健全育成や問題解決を図る。

「生徒の“学びに向かう力”を育み、魅力と活力ある御成門中学校を創造する」—自ら充実した学校生活を創り、世界に発信する—

【主体的で協働的にかかわる望ましい人間関係づくりと学校生活】の充実

- ①学校生活の学習・生活のあらゆる活動を通して、創意工夫を生かした豊かな体験活動・交流の充実(クラスの活動、各学年の活動、専門委員会の活動の充実)
- ②生徒主体で考える学校生活(校則ルール改善、生徒会目案策、生徒提案の活動)
- ③生徒の自己有用感・自尊感情、自信を高める教育活動と人間関係づくり

【多様性を認め、豊かな心の育成】(生命尊重、人権尊重、思いやりの心、社会性の育成)

- ①人権教育、道徳教育の充実し、生徒の個性・特性、多様性を認め合う学習活動の実施(特に生徒の体験活動やゲストティーチャーを招聘しての人権教育や共生社会の一員となる教育、平和教育、生命尊重教育等の学習活動の充実を図る)
- ②コロナ以前に戻す教育活動を進め、生徒主体の学校行事(縦割りダンスコンテストを特色とした運動会、合唱コンクール、3年生を送る会、展示会)と生徒会活動等の工夫・充実(充実感・達成感リーダーシップとメンバーシップ)の充実

【教育相談と特別支援教育(Step Up Room・あおい教室)の充実】

- ①教育相談の充実(4月の1年全ふれあいタイム、クラス生徒との担任面談)、学校生活の困り感への早期発見対応に向けたWEB・Q&Uの実施、全教職員によるふれあい面談の実施)
- ②スクールカウンセラー、保健室を活用した心の相談の充実を図る。
- ③生活アンケートの実施(7月・10月・1月)
(いじめの早期発見・未然防止「暴力行為・ゼロ、器物破損根絶」)
- ④「御成門中学校いじめ防止基本計画」の活用
- ⑤教師との信頼関係基盤にした生徒理解に努める。
- ⑥難聴学級「あおい教室」の円滑な運営と全校生徒への特性理解教育を推進する。
- ⑦生徒の学習・生活のニーズを把握し、ICTも活用した支援を充実する。
- ⑧Step Up Room やあおい教室を活用する保護者との連携協力を図る。

【確かな学力】(授業力向上)の向上・定着

- ①「主体的・対話的で深い学び」による思考力・判断力・表現力を育成
(「学習意欲(学びに向かう力)」を高める授業、問題解決的学習、プレゼンの工夫)・1時間1時間の授業の中身を充実させる。
- ②年2回の生徒による全教員の授業評価の実施を通じた授業改善を行う。
- ③基礎学力の定着(繰り返し学習の徹底、小テスト・個(一人一人)への指導の充実)
- ④朝読書から落ち着いた学習へのスタート(読解力・理解力・想像力・語彙力向上)
- ⑤各種の検定(英検・漢検・数検における年間3回の各種検定料の支援)
- ⑥各種コンクール(標語・感想文・ポスター・発明くふう展出品)実施
- ⑦実社会・実生活につながるゲストティーチャーやプロから「本物から学ぶ」学習
- ⑧学生ボランティアを活用した「放課後チューター」の充実
・学生ボランティアとタブレット活用を活用した「放課後補充学習」の実施

【一人一台のタブレットを活用した学習・活動の推進】

- ①ICT機器の活用を通じた学習、昨年からのデジタル教科書(国語・数学・英語・社会)を活用した効果的な学習の工夫・改善
- ②生徒一人一台のタブレットを活用した主体的・対話的な深い学び、協働的な学習の実践、生徒一人一人の学習状況に応じた最適な学びを目指す学習の展開
- ③生徒の「情報活用能力」、「情報モラル」の育成
- ④放課後オンライン英会話教室の実施(3年生年間12回・水曜日)
- ⑤学校行事、学年行事、生徒会活動、部活動におけるタブレットの活用を充実させる。

【キャリア教育・進路指導】の充実(地域支援本部を活用した取組推進)

- ①学ぶこと、働くことの意味を学ぶ(地域・企業の働く人々からキャリア教育・生き方指導)
- ②1年→2年→3年を通じた進路指導・キャリア教育
・進路を取り巻く変化に対応した進路指導、進路情報を1年次から提供する。
・都教委による全学年の英語スピーキングテスト開始(3年生は都立入試に活用)

【健やかな体と心】を自ら鍛える生徒の育成

- ①体を動かす楽しさを実感するダンスの学習や学校行事に取り入れるとともに、運動量を確保した体育授業の充実を図る。
- ②全部活動に複数顧問と部活動指導員・部活動外部技術指導員を配置し、を充実し、逞しい体と豊かな心を育む。基本的生活習慣や安全な行動、規律ある集団生活を行う態度を育てる。(セーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室)
- ③心と体の健康教育や食育を通して、健康と安全への理解と行動力を高める。(慈恵医大病院との連携を通じた「AED救命救急講習」「がん教育・放射線学習・先端医療理解学習」)

【地域の学校支援者や教育資源・人材を活用した教育活動の充実】

- ①持続可能な社会(SDGs)の創り手となる環境環境の充実
- ②国際理解教育と日本の伝統文化への体験的学習(スウェーデン大使館、諸外国との交流学習、日本の文化芸術教室)
- ③みなと科学館を活用した教育活動(気象庁・気候変動も含めた理科学習・防災教育)を推進し、実感・体験のある理科教育を充実する。

【保護者・地域に期待・信頼される学校づくり】

- ①生徒・保護者・地域の願いに応える実践(学力・健全育成、行事、部活動等)
- ②教育活動の効果について学校評価を行い、改善を図る。
- ③学校ホームページ、ツイッターによる教育活動の発信(HPの更新)
- ④丁寧な対応、保護者・地域との積極的な関わりを行う。

【コミュニティ・スクールから一貫校移行に向けて質の高い教育活動】

- ①生徒・保護者・地域のニーズやCS学校運営協議会の意見を反映できる学校運営の改善を図り、小中一貫校への移行の検討を進める。
- ②学校地域支援本部からのサポート体制(キャリア教育・面接指導他)
- ③区内小学校・御成門小学校との連携(小学生の中学校体験・部活体験)